



まちのできごと

5/23 沢木小学校火災避難訓練 もしものときに備えて

沢木小学校で火災避難訓練が行われました。訓練では理科準備室にて火災が起きたことを想定し、実際に非常ベルを鳴らした避難訓練が行われました。避難訓練終了後には、消防車への乗車や消防士と一緒に火にみたてた看板への放水体験などが行われました。児童たちは、普段近くで見ることのできない消防車に興味津々な様子で消防士にたくさんのことを質問していました。



↑火にみたてた看板へ放水する児童

↓真剣な表情で空き缶積みにも挑戦する子どもたち



5/6 こどものついで 記録をめざして

風の子児童センターでこどものついでが行われ、幼児14人、小学生31人と多くの子どもたちの元気な声が響きました。会場内では、職員と民生委員で用意した5種目の競技が催され、子どもたちはハイスコアを目指して真剣な表情で競技に挑戦していました。催しの最後には餅まきが行われ、袋いっぱい餅を集めた子どもたちは、とても嬉しそうでした。

↓学年対抗大縄跳びの様子



5/26 雄武中学校運動会 熱戦繰り広げられる

時折小雨が降るあいにくの天気でしたが、雄武中学校で運動会が行われました。

生徒たちは運動会の優勝をめざして白熱した戦いを繰り広げました。100m走、障害物リレー、玉入れとたくさんの競技が行われましたが、中でも盛り上がりを見せた競技は、学年対抗で行われた大縄跳びです。各学年が声を掛け合いながら一致団結し大縄跳びを飛ぶ姿に、観客席からは大きな声援が飛んでいました。結果は3年生が先輩としての意地を見せ1位となりました。

5/15 生きがい大学開級式 生きがいある生活を

町教委主催による60歳以上の人を対象とした「生きがい大学」の開級式が、町民センターで行われました。この日のテーマは、「物忘れ・体力の衰えから来る各種事故防止対策」。旭川市でマジック教室の講師をされている西垣良克さんから、事故防止対策についてマジックを交えながら面白おかしく講演が行われ、受講生がマジックを教わり披露する一場面もあり、受講生の皆さんは楽しそうに講演を受けていました。



↑教わったマジックを披露する受講生

↓パネルディスカッションの様子



4/26 町商工会・北海道小町村再生研究会主催 シンポジウム 地域活性化を考える

町地域交流センターでシンポジウム「北海道・小町村の再生を考える」が行われました。シンポジウムでは、雄武町の市街地が道の駅を中心に、信用金庫や商店街、スーパーなどが集中している特徴を活かした市街地の再整備の構想などが話されました。町商工会長橋詰啓史さんは「まだまだやれることは残っている。若者が住み続けたい気持ちになるような、そういう町でありたい」と話していました。

5/20 春季めだか塾 カニがバケツいっぱい

子ども育成会が主催する春季めだか塾が魚田の海岸で開催され、町内の小学生や保護者約40人が参加しました。この日は少し肌寒さが残るものの、磯には小魚やアサリなどたくさんの生き物がいっぱい。大きな石を動かしてみると、身を隠していた小さなカニが一斉に現れました。その数は大人も驚くほどで、児童達は用意したバケツがいっぱいになるほどのカニを捕まえて大満足の様子でした。磯でたくさん遊んだ後は海にまつわる勉強をしたり、海の幸たっぷりのカレーを食べたりと、楽しい一日を過ごしました。



↑「ここに何かいる！」と真剣な表情で生き物を探す児童

↓桜を植樹する参加者



5/20 桜の樹の植樹祭 10年後の満開を願って

中雄武オホーツク夢の郷育村でおうむ夢プロジェクト主催の桜の樹の植樹祭が行われました。この桜は平成30年度「宝くじ桜」寄贈事業により、桜の若木の寄贈を受けたもので、この日は、オオヤマザクラ63本が集まった参加者によって植えられました。おうむ夢プロジェクト理事長の石井友蔵さんは「5年、10年後に皆さんが集まれるような桜公園になってほしい」と話していました。